

第51回東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技 戦 評

平成 16年 6月 20日 (日)		会 場 : 大垣市総合体育館	
開始時間 : 11:10 ~	最終日	男子	準決勝
Aチーム 三重県 四日市西	51	$\begin{bmatrix} 20 & - & 21 \\ 7 & - & 30 \\ 15 & - & 30 \\ 9 & - & 26 \end{bmatrix}$	107 Bチーム 愛知県 安城学園

両チームともオールコートゾーンプレスでスタート。序盤の安城学園はミスを連発。四日市西が 中島のアウトサイドシュート、奥のドライブで主導権を握る。しかしファウルがかさみ、荒井がベンチに下がる。これをきっかけに安城学園は 中野、永田のポストプレー、伊藤のドライブなどでペースをつかみ、互角の戦いとなる。21-20と安城学園が1点のリードで第1ピリオドを終える。第2ピリオド、安城学園は 中野、八木のセンター陣がゴール下を支配。高く堅い守りで相手のオフェンスをシャットアウトし、清水、宇佐美のアウトサイドシュート、伊藤のドライブ、八木のポストプレーなどで得点を重ねていく。四日市西は 荒井をコートに戻すが流れは変わらず、坪井がドライブで対抗しようとするも、アウトサイドシュートしか決め手がない。安城学園はこのピリオドの相手を7点に抑え、51-27と大きくリードして前半を折り返す。

第3ピリオド、四日市西は 荒井の速攻、中島の3点シュート、坪井のドライブなどで対抗するが、相手の高さに苦しみ得点が伸びず、さらに5分には 荒井がファウルアウトとなる。一方安城学園は、ディフェンスを2-2-1ゾーンプレスに変え、中野のポストプレー、伊与田、岡本のミドルシュート、3点シュートなどで着実に得点を伸ばし、81-42で第3ピリオドを終える。第4ピリオドに入っても安城学園は 中野、永田のポストプレー、坊野のミドルシュートなどで着実に得点を伸ばし、107-51とダブルスコアで相手を下し決勝進出を決めた。

文 責	所 属	岐阜県高体連
	氏 名	市川 学

第51回東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技 戦 評

平成 16年 6月 20日 (日)		会 場 : 大垣市総合体育館	
開始時間 : 11:10 ~	最終日	男子	準決勝
Aチーム 愛知県 愛知産業大学工業	91	$\begin{bmatrix} 21 & - & 20 \\ 27 & - & 19 \\ 21 & - & 18 \\ 22 & - & 10 \end{bmatrix}$	67 Bチーム 静岡県 飛龍

両チームともハーフコート2-1-2ゾーンでスタート。愛知産業大学工業が先手を取るが、7分には飛龍が速攻からのゴールを重ね、さらに 飯田のドライブ、羽柴の3点シュート、ゴール下シュートで逆転する。愛知産業大学工業は相手のマッチアップのプレッシャーで得点をあげられない時間が続くが、横本の5本目の3点シュートが残り10秒で決まり、21-20と1点リードして第1ピリオドを終了。第2ピリオド、流れは愛知産業大学工業に傾き、嶋田、飯沼のポストプレー、リバウンドでの活躍、横本の3点シュートで得点を重ねていく。飛龍は 種市のドライブからのパスでセンター陣がゴール下で奮闘するが、相手センターに対するディフェンスではファウルを重ねフリースローを与えてしまう。前半は愛知産業大学工業が48-39と9点リードして終わる。

第3ピリオド、飛龍は持ち味の速攻を活かし流れをつかむ。山田のパスを受け大石、種市が速攻を決める。7分には48-48で同点とするものの、その後3分間得点がなく、愛知産業大学工業のカットイン、リバウンドに対してファウルを重ねてしまう。第3ピリオドは愛知産業大学工業が12点リードして終了。第4ピリオド、飛龍はオールコートマンツーマンで巻き返しを図るが、点差は縮まらない。愛知産業大学工業は、嶋田の機敏なゴール下のシュート、横本の3点シュートと内外で得点を重ね、2分にはスタートメンバーをすべてベンチに下げた。91-67と愛知産業大学工業が大差で勝利して、決勝へ進出した。

文 責	所 属	岐阜県高体連
	氏 名	土本 繁

第51回東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技 戦 評

平成 16年 6月 20日 (日)		会 場 : 大垣市総合体育館	
開始時間 : 14:30~	最終日	男子	決勝
Aチーム 愛知県 安城学園	91	$\left[\begin{array}{r} 24 - 15 \\ 15 - 7 \\ 28 - 8 \\ 24 - 16 \end{array} \right]$	46 Bチーム 愛知県 愛知産業大学工業

安城学園はオールコートゾーンプレスからマッチアップゾーン、愛知産業大学工業はハーフコート2-1-2ゾーンでスタートする。序盤、硬さの見える愛知産業大学工業は相手のディフェンスに対しターンオーバーが続出。開始3分で8-0と安城学園がリードを奪う。しかし愛知産業大学工業も 横本、伊藤の3点シュートを皮切りに徐々にリズムを取り戻し、24-15と安城学園が9点のリードで終了する。第2ピリオド、安城学園はディフェンスが機能し、オフェンスでも 伊与田の3点シュート、伊藤の速攻などで点差を広げる。対する愛知産業大学工業は思うようにアウトサイドシュートが決まらず、インサイドの要 嶋田にもなかなかボールが入らず、苦しい展開が続いた。前半は39-22と安城学園が17点リードして終了する。

第3ピリオド、安城学園は前半の勢いそのままに激しいディフェンスから速攻につなげ、着実にリードを広げる。愛知産業大学工業は前半同様にターンオーバーが多く、残り1分までに3得点しかあげられなかった。67-30と安城学園の大量リードで終了。第4ピリオド、愛知産業大学工業はオールコートでディフェンスを仕掛け、松下の速攻や 伊藤の3点シュートで追い上げを図るが、安城学園の落ち着いたゲームメイクで点差は縮まらない。40分間相手にプレッシャーをかけ続けコート走り続けた安城学園が、大量リードで東海総体の優勝を飾った。

文 責	所 属	岐阜県高体連
	氏 名	安藤 聡

第51回東海高等学校総合体育大会バスケットボール競技 戦 評

平成 16年 6月 20日 (日)		会 場 : 大垣市総合体育館	
開始時間 : 14:30 ~	最終日	男子	3位決定戦
Aチーム 三重県 四日市西	94	$\left[\begin{array}{r} 18 - 23 \\ 27 - 25 \\ 23 - 27 \\ 26 - 15 \end{array} \right]$	90 Bチーム 静岡県 飛龍

両チームともマンツーマンでスタート。飛龍は 種市が中心となり、ゴール下シュート、速攻と活躍する。一方の四日市西は、荒井を中心に激しいディフェンスから速い攻撃を展開する。第1ピリオドは、飛龍 山田が要所で3点シュートを決め、23-18と5点リードする。第2ピリオドに入ると、四日市西のスピードある攻撃が徐々に決まりだし、奥が3連続でドライブを決めるなど、流れは次第に四日市西に傾きだす。飛龍はオフェンスの中心である 種市が3ファウルでベンチに下がるも、飯田がゴール下シュートを確実に決めリードを譲らず、前半は48-45と飛龍が3点リードで折り返す。

第3ピリオド、飛龍は 種市がコートに戻ると、ポストプレーにアシストにと活躍し、オフェンスが機能して確実に得点を重ねる。四日市西は得意の3点シュートが決まらず、なかなか追いつくことができない。第4ピリオド2分に、飛龍の攻撃の要であった 種市がファウルアウト。次いでゴール下で頑張りを見せた 飯田もファウルアウトとなる。この機に勢いを取り戻した四日市西は、途中出場の 小林の3点シュート、さらに 荒井がスティールからの速攻でついに逆転。しかし飛龍も、長身の 羽柴、 李を投入し、残り5分は一進一退の攻防となる。残り15秒、同点の場面で四日市西 荒井がスティールから速攻でシュートを決め、さらに 奥のゴール下シュートで熱戦に終止符を打ち、見事東海大会3位に輝いた。

文 責	所 属	岐阜県高体連
	氏 名	宮崎泰彦